

吉田 茂



皇居北の丸公園の銅像

～吉田茂とはどのような人物だったのか～

1906	1905	1904	1902	1901	1898	1897	1896	1895	1894	1889	1881	1878	1877	西曆
明治 39	明治 38	明治 37	明治 35	明治 34	明治 31	明治 30	明治 29	明治 28	明治 27	明治 22	明治 14	明治 11	明治 10	元号
28	27	26	24	23	20	19	18	17	16	11	3	0		年齢
東京帝国大学法科大学政治学科を卒業する 外交官領事官試験に合格。領事官補に就任する	ポーツマス条約が結ばれ、日露戦争が終結する 東京帝国大学法科大学政治学科へ転入する	日露戦争が勃発。満州、朝鮮の権益をめぐり、日本とロシアが戦争を開始する	日英同盟が結ばれる	学習院大学科に入学する	学習院高等学科に入学する	学習院中等科6年級に編入する	東京物理学校に入学する	高等商業学校へ転校する 正則尋常中学校へ転入する	東京の日本中学校に入学する	神奈川の耕余義塾に入学。5年まで在学する 養父・建三が死去し家督を継ぐ	貿易商・吉田健三の養子となる	旧土佐藩士・竹内綱の五男として東京に生まれる	西南戦争が終結。西郷隆盛が自刃する	出来事
学 生 の 時 期											幼少期	—	備考	

1932	1931	1930	1928	1925	1923	1922	1920	1918	1917	1914	1912	1909	1908	1907	西曆
昭和 7	昭和 6	昭和 5	昭和 3	大正 14	大正 12	大正 11	大正 9	大正 7	大正 6	大正 3	大正 元	明治 42	明治 41	明治 40	元号
54	53	52	50	47	45	44	42	40	39	36	34	31	30	29	年齢
清朝最後の皇帝・溥儀を執政とする満州国が建国される	満州事変が起こる。関東軍が独断で満州を武力占領する	駐イタリア大使に就任する	外務次官に就任する	中国・奉天総領事に就任する	関東大震災が起き、東京や横浜などが大被害を受ける	中国・天津総領事に就任する	第一次世界大戦後の国際機構として、国際連盟が成立する 大使館一等書記官としてイギリスに在勤する	中国・済南領事に就任する パリ講和会議に随行する	大臣官房文書課長心得に就く	第一次世界大戦が始まる	中国・安東領事に就任する	牧野伸顕の娘・雪子と結婚する 大使館三等書記官としてイタリアに在勤する	ロンドンに在勤を命じられる	中国・奉天に在勤を命じられる	出来事
外交官の時期															備考

1949	1948	1947	1946	1945	1941	1937	1936	1935	1933	西暦
昭和 24	昭和 23	昭和 22	昭和 21	昭和 20	昭和 16	昭和 12	昭和 11	昭和 10	昭和 8	元号
71	70	69	68	67	63	59	58	57	55	年齢
第3次吉田内閣が成立する	民主自由党の総裁に就任する 第2次吉田内閣が成立する	日本国憲法が施行される	自由党総裁・鳩山一郎が公職追放される 自由党総裁就任を受諾する 第1次吉田内閣が発足する 日本国憲法が公布される	幣原喜重郎内閣が成立し、外相に再任する 東久邇宮稔彦内閣の外相に就任する 連合国軍最高司令官・マッカーサーが来日する	近衛文麿らと和平工作を画策。憲兵隊に逮捕される 日本がポツダム宣言を受諾し、連合国に無条件降伏。終戦の詔勅が放送される	日本軍がハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、太平洋戦争が勃発する	日中戦争が勃発する 駐英大使に就任する	二・二六事件。陸軍皇道派将校によるクーデターが起こる 広田弘毅内閣の外相候補となるが、外相には有田八郎が就く	外務省を退官する 満州撤兵を要求された日本は、国際連盟から脱退する	出来事
首相の時期				外相の時期				外交官の時期	備考	

DNタワー21(旧第一生命館) GHQ(連合軍総司令部)がおかれた建物



1967	1964	1963	1960	1957	1955	1954	1953	1952	1951	1950	西暦
昭和 42	昭和 39	昭和 38	昭和 35	昭和 32	昭和 30	昭和 29	昭和 28	昭和 27	昭和 26	昭和 25	元号
89	86	85	82	79	77	76	75	74	73	72	年齢
大磯の私邸にて死去。従一位大勲位菊花章頸飾を授与される 戦後初の国葬が執り行われる	大勲位菊花大綬章を受章する 佐藤栄作内閣が成立する	政界を引退する	池田勇人内閣が成立する 国民所得倍増計画を決定する	岸信介内閣が成立する	自由民主党が結成される	吉田内閣が総辞職する 防衛庁と自衛隊が発足する	第5次吉田内閣が成立する 朝鮮休戦協定調印。北朝鮮、中国、国連軍の間で休戦協定が締結される	第4次吉田内閣が成立する 明仁親王（平成天皇）の立太子の礼で、祝いの言葉を読んだ際、自身を「臣茂」と呼称する	第2回吉田・ダレス会談が行われる サンフランシスコ講和会議に出席し、平和条約と日米安全保障条約に調印する	警察予備隊令を公布する 朝鮮戦争が勃発する 第1回吉田・ダレス会談が行われる 自由党の総裁に就任する	出来事
大磯への隠棲の時期						首相の時期					備考

サンフランシスコ平和条約 受諾演説の原稿(外交史料館)



サンフランシスコ平和条約 認証謄本(外交史料館)



日米安全保障条約 (S26.9.8調印) (外交史料館)



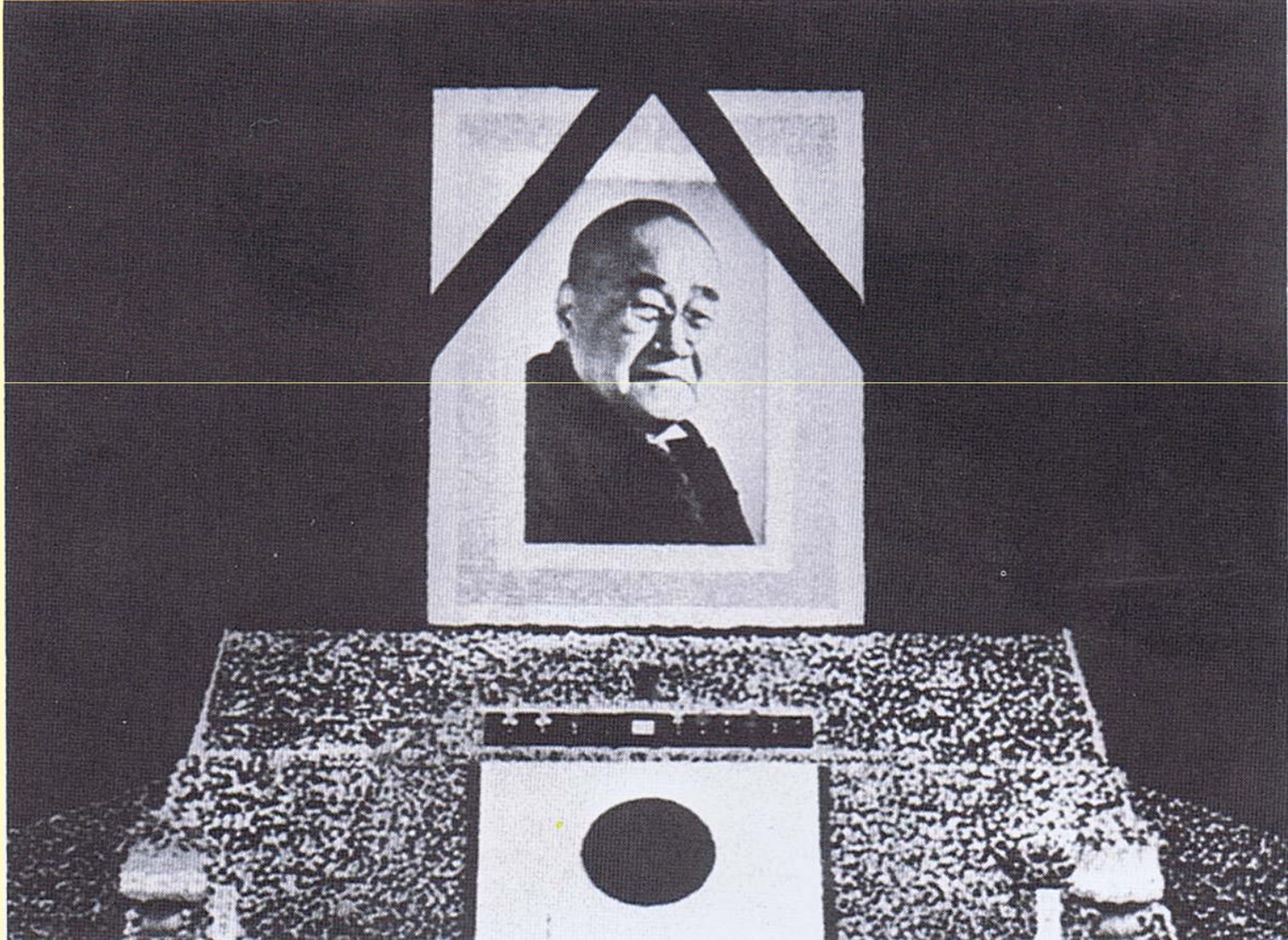
兜門（講和門）



1967	1964	1963	1960	1957	1955	1954	1953	1952	1951	1950	西暦	
昭和 42	昭和 39	昭和 38	昭和 35	昭和 32	昭和 30	昭和 29	昭和 28	昭和 27	昭和 26	昭和 25	元号	
89	86	85	82	79	77	76	75	74	73	72	年齢	
大磯の私邸にて死去。従一位大勲位菊花章頸飾を授与される 戦後初の国葬が執り行われる	大勲位菊花大綬章を受章する 佐藤栄作内閣が成立する	政界を引退する	池田勇人内閣が成立する 国民所得倍増計画を決定する	岸信介内閣が成立する	自由民主党が結成される	吉田内閣が総辞職する 防衛庁と自衛隊が発足する	第5次吉田内閣が成立する 朝鮮休戦協定調印。北朝鮮、中国、国連軍の間で休戦協定が締結される	第4次吉田内閣が成立する 明仁親王（平成天皇）の立太子の礼で、祝いの言葉を読んだ際、自身を「臣茂」と呼称する	第2回吉田・ダレス会談が行われる サンフランシスコ講和会議に出席し、平和条約と日米安全保障条約に調印する	警察予備隊令を公布する 第1回吉田・ダレス会談が行われる 朝鮮戦争が勃発する	自由党の総裁に就任する	出来事
大磯への隠棲の時期						首相の時期					備考	



国葬



吉田茂の墓（青山霊園）

